



変遷 「平成の終わりに」

平成は三十年と四カ月でその歴史に幕を閉じ、新しい時代を迎えます。そこで、平成年間に「四谷の千枚田」を中心とした出来事を独断と偏見で表に纏めてみました。

| | | | |
|-----|---|-----|--|
| 元年 | 「昭和」から「平成」と改元(1/8) 消費税導入 3%(4/1) | | 「四谷の千枚田だより」カラー印刷 連谷お助け隊に改称 |
| 3年 | 千枚田保存活動開始(9/23) この時、千枚田は 373 枚であった | | 灯そう千枚田開催(お助け隊主催) 600本のロウソクを灯す。開始来雨 なし、連谷魂にお天道様も味方 |
| 6年 | わかしゃち国体会場「やまびこの丘」 で千枚田写真展開催、劇団「ふるきや ら」CP ひらつか順子氏と棚田保存に ついて話し合う。この時点でサミット の話は無かった。(10/27~) 連谷校区演芸会を開催、数年続く 高畑林道開通 この年、猛暑 平6の大渇水 | 18年 | 「豊かなむらづくり」大臣賞受賞 棚田サミット参加(日南市 32名) 新城ラリーチェックポイント接待 AZ 社ボランティア 75名受け入れ 寄稿:「企業を受け入れて」ライステラス 豊橋調理師学校育農学習 現在も 移殖したモリアオガエル産卵 |
| 7年 | 第1回全国棚田(千枚田)サミット開 催(高知県梶原町) | | 横浜ゴム新城工場社員研修受入れ、 稲わら出荷、現在に至る |
| 8年 | 第2回千枚田写真展「やまびこの丘」 これを機にNHK、民放各社が放送 アジア、アフリカへ米を送る運動協 力、(新城高校、黄柳野高校など) 河西忍復田開始、各所で休耕地を復田 (373枚が約420枚となる) | 19年 | 棚田サミット(栃木県茂木町 30名) 新城ラリー 千枚田米(ミネアサヒ) 特別限定純米酒を作る 千枚田「重要文化的景観」指定を提 言したが、すべて無視された 小学生の田んぼ飛び、現在に続く |
| 9年 | 鞍掛山麓千枚田保存会発足(1/12) 滝上の交差点に信号が点く | 20年 | モリコロ基金で環境整備(お助け隊) 東京棚田フェスティバル(舜)参加 |
| 11年 | 町民の主張「四谷の千枚田から」を発 表「ふるさと水と土ふれあい事業完成 の暁には全国棚田サミットを招致す る」と主張 イノシシの被害拡大 | 21年 | 坂折棚田「田んぼの生きもの」講演 千枚田パンフレット作製 三遠南信サミット(舜)パネラー ふるさと農林水産フェア(吹上ホー ル)棚田米ミネアサヒ高評価を得る |
| 13年 | ふるさと水と土ふれあい事業により 農道・ふれあい広場等施設整備、事業 費2億8百万円(13~15年) 竣工以来、週1回トイレ掃除実施 棚田サミット(輪島市)この時、サミッ ト開催打診あり、手を上げてきた | 22年 | 「田園再生セミナーin名古屋 for COP10」でパネラー「田園自然再生 コン」赤松農水大臣より賞状授与 あいち森と緑づくり事業採択により 環境整備・観察会の実施(5ヶ年) 棚田サミット(十日町市 27名) ふるさと指導員全国研修会(東京オリ ンピック記念館)(舜)講師 COP10愛知招致に大きく貢献する また、電柱迂回、参加国多人数訪問 |
| 14年 | 稲作プロジェクトチーム稲作参加 (360名、数年続く)新城高校も参加 棚田サミット参加(鴨川市) | 23年 | アサヒスーパードライ千枚田をポス ター(第1弾から4弾)に採用、缶ビー ル1本に付き1円を愛知県の環境保 全に寄付 |
| 15年 | ふるさと・水と土ふれあい事業竣工祝 賀式(3/30) ビオトープ造成。いきも の観察会でモリアオガエル移殖 「四谷の千枚田だより」発行 「農村アメニティ・コン」大臣賞受賞 棚田サミット参加(恵那市) 鳳来町17年にサミット開催決定 | 24年 | NHK「ニッポンの里山」、「小さな 旅」放送 3.11震災「おいでん福島っ子」受入 |
| 16年 | 連谷サミットお助け隊発足 「アジアの棚田展」へ写真展示 棚田サミット参加(佐賀県相知町) 「東海水土里フォーラム」(10/11) パネラー菅原文太氏、(舜) | 25年 | 愛知県第1号小水力発電設置 知事来 坂折棚田シンポジウム(舜)パネラー 三遠南信文化交流「千枚田を核とし たむらづくり」クエーティン浜松(舜)講演 |
| 17年 | 愛知万博で身平橋の「はね込み」を披 露、ゴダイゴのミッキー吉野氏と共演 第11回全国棚田(千枚田)サミット開 催(連谷校区世紀来の出来事) 合併で新城市となる ニホンジカ出没 | 26年 | 映画「あん」撮影地 樹木樹林さん 住民と触れ合う、翌年6月封切 英国BBC長期ロケ(TV世界発信) 「ベンチ」設置 市地域交付金活用 古米の出荷(八雲だんご)千枚田五平 餅として全国展開(ゆーバック) |

| | | | |
|-----|--|---|--|
| 27年 | 寄稿「生きものと共生した体に優しいコメづくり」(棚田学会誌 45号) 奥三河パワートレイル 接待、応援(継続事業) 「美の里づくり」特別賞(農水省) 中部環境5市サミットin根羽 千枚田をアピール、森林の荒廃と湧水の枯渇を提言(舜) 第11回全国棚田(千枚田)サミット開催10周年記念シンポジウム開催(210名) 中山間地等直接支払制度 4期対策加入せず | 29年 | 大型ドラマ「リーダーズII」ロケに協力 愛知県の広報誌「愛知の引力」英語、中国語、日本語版が改訂発行 大代地内駐車場整備 |
| | 28年 | 連谷小学校 144年の歴史を閉じる 新東名高速道路開通 豊鉄バス「四谷千枚田口」運行 灯そう千枚田 保存会事業に | 30年 |

四谷の千枚田は元気がいい

一月二十五日、今朝は零下二度七分とバカ寒い。それでも千枚田のあちこちで畦の補修(石積)や田んぼを耕起している。

前号でも紹介した中村史樹君の家族は四十五年も耕作放棄していた田んぼの復田、再生に余念がない。特に、この付近は鞍掛山から転がってきた石が溜った場所なのか一枚が十坪ほどの田んぼでも七つも八つもの転石が頭を出している。それに根付き石もあり、これを全部取るとなると大変なこった。



寒中お見舞い申し上げます
昨年は、二月上旬から半世紀来の寒波が続ぎ、仏坂にも久々にツララが見られた。世界的に温暖化が危惧されているが、まだまだ地球は大丈夫、と思った矢先、空梅雨で水不足、猛暑を卓越した酷暑で、(舜)も調子づいて田んぼのヒエ扱きの最中、熱中症でぶっ倒れ、家内に「トロイ」といなされた。湧き水の千枚田、猛暑が幸いして水も温まり、豊作をほくそ笑んでいたが、九月に入り連日の雨続き、おまけに二十一号と二十四号の台風襲来、前者は、たわわに実った稲穂(実ったほど頭を垂れる稲穂かな)が風に揺すぶられ、重なり合った稲穂が発芽。後者は伊勢湾台風以来の強風で千枚田の「稲はざ」のほとんどが倒れ、末期すら覚えた。でも、千枚田の百姓は手塩にかけて育てた稲に愛着、僅か、四日ほどで稲架起こし。「今年は、お天気に虐められ、ひどい目にあったぞん、田植えから稲穀まで長靴だったえん、やんなっちゃった」。などと、悪口を叩きながらも、今は、何のその、ケロッと忘れ、冬耕や、田んぼの管理に余念がない。六月の「お田植感謝の夕べ」は梅雨にも関わらず十四年間中止なし、これも、地域住民や、お天道様の御陰と。十二月の収穫感謝祭は地域住民はもとより、東三河を拠点として活動するアーティスト「河西忍の愉快な仲間たち」の生バンド共演など、兎にも角にも楽しい一年を締め括ることができました。感謝。「四谷の千枚田だより」も十五年間継続発行。保存活動開始以来二十八年、早朝の千枚田一周(怪我で一時休止)を「日は好日」と願い、短くなった余生を堪能しています。
皆さんが、お幸せであることを願います。
平成三十一年一月七日

そこで、いらん事に「直ちや(史樹君の親父)この石を全部取るだかん、と聞いたたら、若い衆が耕運機で耕すにゴッソングッソソ刃に石があたりやあ、機械も傷むし、嫌なつちやうだらあもんで、取らにやあしよんない。と、また、二枚の田んぼを一枚にしたらどうだん、と聞いたたら、そりやあ、仕事は楽にやあなるだらああが、千枚田の数が減っちゃうでのん」と明快な返事が返ってきた。それにしても年末から田んぼの復田に費やした日数はハンパじゃあないし、銭金で、できる仕事でもない。感謝と嬉しさが、交錯する。



発行 平成三十一年二月一日
鞍掛山麓千枚田保存会
文責 小山舜二